

開催年月日 令和4年12月13日（火）  
 質問者 日本共産党 宮川 潤 委員  
 答弁者 知 事 鈴木 直道

| 質 問 内 容   | 答 弁 内 容   |
|---|---|
| <p><b>一 新型コロナウイルス感染症対策について</b><br/> <b>（一）感染病床の強化について</b><br/>                     最初に、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。<br/>                     死亡者が最多となったことなどに鑑み、コロナ病床の増強が必要なのではないかと考えるけれども、知事のお考えはいかがか伺います。</p> <p><b>再一（一）</b><br/>                     必要な病床の確保というのは当然だと思いますけれども、私心配するのは、感染が拡大したときに機敏に対応できるのか、ということであります。<br/>                     年末年始の人の動きなど、また、気温が下がることなど、感染拡大が想定されますけれども、知事はその点をどうお考えですか。<br/>                     今は拡大に備えて十分準備することで、機敏な対応ができるようにするべきであり、先を見据えた対応を心がけるべきではありませんか、伺います。</p> <p>低温などもありますが、感染拡大時に後手に回ることがないように、是非、先を見た対応をお願いしたいというふうに思います。</p> <p><b>（二）施設と医療の連携強化について</b><br/> <b>1 入院の判断について</b><br/>                     高齢者施設で入所者・職員共にクラスターが増加しており、施設内で療養するか、入院するか判断は、施設の意向を十分に尊重することが重要ではないでしょうか。<br/>                     施設側に、施設内療養か、入院するか判断の目安も示すことが必要ではないかと思っておりますけれども、いかがお考えですか。</p> | <p><b>【知事】（医療体制班）</b><br/>                     病床の確保についてであります。本道の感染状況は、緩やかな減少傾向にあるものの、依然として、病床使用率が高い水準で推移する中、限りある医療資源を有効に活用しながら、高齢者など重症化リスクの高い方々に適切な医療を提供していくことが重要であると認識しております。<br/>                     このため、道では、地域の感染状況などを慎重にモニタリングしつつ、現状、確保している病床を最大限活用することはもとより、病床の回転率向上を図るため、高齢の入院患者の方々に対応する適切な療養環境や、後方支援医療機関の確保に向けた医療機関への働きかけなどにも、取り組んできているところであります。<br/>                     道としては、今後とも、こうした取組を進めるとともに、道民の皆様、本道の厳しい実情をお伝えし、基本的な感染防止行動の徹底を繰り返し呼びかけるなどしながら、医療のひっ迫を回避し、引き続き、一般医療との両立を図りつつ、入院治療が必要な方々が、適切な医療を円滑に受けられるよう、必要な病床の確保に努めてまいります。</p> <p><b>【知事】（医療体制班）</b><br/>                     病床の確保についてでありますけれども、インフルエンザとの同時流行を想定した中で、外来医療体制整備計画を12月2日付けで整備をしたところでありますが、最大確保病床数につきましても、今月中旬を目途に医療機関をはじめとした関係者の皆様と協議を進めつつ、病床確保計画の見直しを進めているところであり、今後の感染拡大においても、必要な病床の確保に努めてまいりたいと考えています。</p> <p><b>【知事】（地域支援班）</b><br/>                     療養の方法等についてであります。道では、高齢者施設等で感染者が発生し、その患者の方々の中に、医療が必要な方がいる場合には、まずは、各施設において、その状況を協力医療機関へ相談する取扱いとしており、そうした対応が難しいといった相談が、道立保健所にあつた場合には、患者の方、お一人お一人の症状や身体機能などを確認した上で、検査や薬の処方必要性などにも鑑みつつ、地域の実情に即して、速やかに対応可能な医療機関との調整を進めているところであります。</p> |

| 質 問 内 容   | 答 弁 内 容   |
|---|---|
| <p>2 連携強化の必要性について</p> <p>施設から医療機関への入院の迅速化など連携強化も含め、重症化リスクの高い高齢者への対策強化をどうはかっていくお考えですか、伺います。</p> <p>コロナ病床のひっ迫から、施設内で感染が広がった場合、施設内に留め置かれるというようなことが起きずに、医療との連携をしっかりと強めていただきたいという風に思います。</p> | <p>また、その入院に際しては、療養に係る施設の意向も十分に伺いつつ、患者の方の症状や基礎疾患の状況なども、しっかりと確認の上、医師が、総合的に判断をし、必要な方を適確に医療につなげているところであります。</p> <p><b>【知事】（地域支援班）</b></p> <p>施設内療養への支援等についてであります。道では、重症化リスクの高い高齢者等が、入所する福祉施設内で感染者が発生した場合には、必要に応じ、適確に医療へ繋ぐことはもとより、軽症等の場合には、住み慣れた環境で必要な介護サービスが安心して受けられるなど、生活の質の維持に向けた療養環境を整えることも重要なものと認識しております。</p> <p>このため、保健所が、振興局の社会福祉課と連携し、速やかに施設の状況の確認や、入所者の健康観察など、きめ細かで丁寧な対応に努めていることはもとより、入所者の生活の質の維持にも十分に配慮しつつ、必要に応じて、適確な医療に繋がられるよう、医療機関も含めた連携体制の充実を図るなどして、高齢者の方々が、全道どこの地域でも、安心して療養できるよう、地域の対応力の強化に向け、力を尽くしてまいります。</p> |